



2026年12月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2026年5月13日

上場会社名 ピクスタ株式会社 上場取引所 東
 コード番号 3416 URL <https://pixta.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 古俣 大介
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役コーポレート本部長 (氏名) 恩田 茂穂 TEL 03 (5774) 2692
 配当支払開始予定日 —
 決算補足説明資料作成の有無：有
 決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2026年12月期第1四半期の連結業績（2026年1月1日～2026年3月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年12月期第1四半期	607	△7.6	3	△94.1	4	△91.8	△2	—
2025年12月期第1四半期	657	0.8	59	△36.7	60	△36.6	39	△40.2

(注) 包括利益 2026年12月期第1四半期 △4百万円 (-%) 2025年12月期第1四半期 39百万円 (△41.1%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年12月期第1四半期	△1.16	—
2025年12月期第1四半期	23.05	22.81

(注) 2026年12月期第1四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益につきましては、潜在株式は存在するものの1株当たり四半期純損失であるため記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年12月期第1四半期	2,302	1,127	46.1
2025年12月期	2,406	1,205	47.4

(参考) 自己資本 2026年12月期第1四半期 1,060百万円 2025年12月期 1,140百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年12月期	—	0.00	—	45.00	45.00
2026年12月期	—	—	—	—	—
2026年12月期（予想）	—	0.00	—	45.00	45.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2026年12月期の連結業績予想（2026年1月1日～2026年12月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	2,877	8.0	163	8.0	166	16.4	105	14.3	61.06

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(注) 詳細は、短信添付資料の7ページ「2. (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項」の「四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2026年12月期 1 Q	2,296,640株	2025年12月期	2,296,640株
② 期末自己株式数	2026年12月期 1 Q	562,618株	2025年12月期	562,618株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2026年12月期 1 Q	1,734,022株	2025年12月期 1 Q	1,733,978株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記載は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。

また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、短信添付資料の3ページ「1. 経営成績等の概況（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	5
四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)	7
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	7
(セグメント情報等の注記)	8
(重要な後発事象)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における我が国経済は、賃金上昇の継続や企業収益の改善を背景に、緩やかな回復基調で推移しました。一方で、物価上昇が続くなか、中東情勢の緊迫化に伴う原油価格の上昇が企業コストや家計負担を押し上げ、特に個人消費については、実質賃金がマイナス圏での推移を続けたこともあり、力強さを欠く状態が続いており、先行きについては依然として不透明な状況が続いております。

当社グループを取り巻く環境としましては、スマートデバイス、スマートフォン（以下、スマホ）アプリやインターネット広告（動画広告を含む）の普及に伴い、これまで以上にインターネットでのデジタル素材の活用機会が増えております。また、近年、スマホに付属するカメラ機能の高機能化やアプリの加工技術の向上により誰もが手軽に高品質の写真撮影ができるようになり、さらに撮影したスマホ写真をソーシャル・ネットワーキング・サービス（以下、SNS）に投稿・共有するスタイルが若年層を中心に定着してきました。加えて、ライブイベントごとの撮影機会の増加やSNSでの写真共有の増加に伴い、個人の撮影サービス市場は拡大するとともに、顧客ニーズは多様化しております。また、画像認識に関する機械学習については、深層学習技術の発展等によりその精度は向上し続けており、自動運転・セキュリティ分野などの様々な分野での活用が加速していくなかで、学習データの重要性は高まっております。さらに、近年ではAIを用いた自動画像生成等の技術革新が進んでおります。

このような状況の下で、当社グループは「才能をつなぎ、世界をポジティブにする」という企業理念の下、主にデジタル素材マーケットプレイス「PIXTA（ピクスタ）」、出張撮影プラットフォーム「fotowa（フォトワ）」を運営してまいりました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間は、売上高は607,212千円（前年同四半期比7.6%減）、営業利益は3,483千円（前年同四半期比94.1%減）、経常利益は4,954千円（前年同四半期比91.8%減）、親会社株主に帰属する四半期純損失は2,003千円（前年同四半期は親会社株主に帰属する四半期純利益39,974千円）となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

①PIXTA事業

PIXTA事業において、定額制の月間購入者数累計は、少量ダウンロードプランの利用ユーザーが減少したこと等により、32,293人（前年同四半期比6.6%減）となりました。一方、単品の月間購入者数累計は、ライトユーザーの離脱が影響したこと等により、18,177人（前年同四半期比15.8%減）となりました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間における売上高は453,906千円（前年同四半期比15.0%減）、うち定額制売上高は、296,983千円（前年同四半期比8.6%減）となりました。また、セグメント利益は、174,436千円（前年同四半期比15.3%減）となりました。

②fotowa事業

fotowa事業において、サービスのリニューアルに伴う販売価格の値上げが影響し、累計撮影件数は2,297件（前年同四半期比52.0%減）となりました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間における売上高は71,719千円（前年同四半期比25.4%減）となりました。また、セグメント損失は、広告費の抑制等により、20,667千円（前年同四半期はセグメント損失23,129千円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ104,018千円減少し、2,302,424千円となりました。

これは主に、現金及び預金が57,478千円、売掛金が43,130千円減少したことによるものであります。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における負債は、前連結会計年度末に比べ25,366千円減少し、1,175,187千円となりました。

これは主に、契約負債が26,251千円増加した一方で、未払法人税等が24,704千円、買掛金が23,370千円減少したことによるものであります。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産は、前連結会計年度末に比べ78,652千円減少し、1,127,237千円となりました。

これは主に、親会社株主に帰属する四半期純損失2,003千円及び剰余金の配当78,030千円によるものであります。

この結果、自己資本比率は46.1%（前連結会計年度末は47.4%）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年2月13日に公表した通期業績予想から変更はございません。

なお、業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後の様々な要因により予想数値と異なる場合がございます。

2. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2026年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,508,007	1,450,529
売掛金	535,204	492,074
その他	172,426	166,992
貸倒引当金	△726	△389
流動資産合計	2,214,911	2,109,206
固定資産		
有形固定資産	9,424	8,286
無形固定資産	162,713	160,473
投資その他の資産	19,393	24,458
固定資産合計	191,531	193,218
資産合計	2,406,443	2,302,424
負債の部		
流動負債		
買掛金	446,282	422,911
1年内返済予定の長期借入金	181	181
未払金	73,355	61,894
未払法人税等	35,992	11,288
契約負債	525,831	552,082
賞与引当金	3,971	2,484
その他	114,334	123,772
流動負債合計	1,199,949	1,174,616
固定負債		
長期借入金	604	571
固定負債	604	571
負債合計	1,200,553	1,175,187
純資産の部		
株主資本		
資本金	332,437	332,437
資本剰余金	322,389	322,389
利益剰余金	1,023,659	943,624
自己株式	△540,531	△540,531
株主資本合計	1,137,954	1,057,919
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	2,280	2,775
その他の包括利益累計額合計	2,280	2,775
新株予約権	46,216	49,469
非支配株主持分	19,438	17,073
純資産合計	1,205,889	1,127,237
負債純資産合計	2,406,443	2,302,424

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年1月1日 至 2026年3月31日)
売上高	657,432	607,212
売上原価	274,286	260,411
売上総利益	383,146	346,800
販売費及び一般管理費	323,871	343,317
営業利益	59,274	3,483
営業外収益		
受取利息	609	716
受取手数料	318	267
債務免除益	238	723
その他	0	73
営業外収益合計	1,166	1,781
営業外費用		
支払利息	21	1
為替差損	331	309
営業外費用合計	352	310
経常利益	60,088	4,954
特別損失		
固定資産売却損	-	38
特別損失合計	-	38
税金等調整前四半期純利益	60,088	4,915
法人税等	20,114	8,912
四半期純利益又は四半期純損失(△)	39,974	△3,997
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	-	△1,993
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	39,974	△2,003

(四半期連結包括利益計算書)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年1月1日 至 2026年3月31日)
四半期純利益又は四半期純損失 (△)	39,974	△3,997
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	△217	△279
その他の包括利益合計	△217	△279
四半期包括利益	39,756	△4,276
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	39,756	△1,509
非支配株主に係る四半期包括利益	-	△2,766

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)

(税金費用の計算)

当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費（のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。）は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年1月1日 至 2026年3月31日)
減価償却費	7,043千円	7,068千円

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2025年1月1日 至 2025年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	PIXTA	fotowa	計				
売上高							
外部顧客への売上高	534,258	96,111	630,370	27,062	657,432	-	657,432
セグメント間の内部 売上高又は振替高	-	-	-	-	-	-	-
計	534,258	96,111	630,370	27,062	657,432	-	657,432
セグメント利益又は 損失(△)	205,918	△23,129	182,789	△28,758	154,031	△94,756	59,274

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、PIXTAオンデマンド事業等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額には、各報告セグメントに配分していない全社費用及びセグメント間取引消去等が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

該当事項はありません。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2026年1月1日 至 2026年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	PIXTA	fotowa	計				
売上高							
外部顧客への売上高	453,906	71,719	525,626	81,585	607,212	-	607,212
セグメント間の内部 売上高又は振替高	-	-	-	-	-	-	-
計	453,906	71,719	525,626	81,585	607,212	-	607,212
セグメント利益又は 損失(△)	174,436	△20,667	153,768	△51,167	102,601	△99,118	3,483

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、PIXTAオンデマンド事業、YASUMI WORKS事業等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額には、各報告セグメントに配分していない全社費用及びセグメント間取引消去等が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

該当事項はありません。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。